※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１２

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「現代高等保健体育」（大修館書店）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・健康や安全について学び、生活の質を向上させ、健康を支える環境づくりをしよう。
・個人及び社会生活における健康課題を知り、それらのよりよい解決方法を考えよう。
・身近な健康問題に興味を持とう。

２　学習の到達目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

（１）個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
（２）健康についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
（３）生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目ざし、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目ざして総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="7">1学期</td><td rowspan="13">3 生涯を通じる健康</td><td>1 ライフステージと健康</td><td rowspan="7">a:思春期における心身の発達や性的成熟に伴う変化や、結婚生活・妊娠・出産・加齢について理解している。
b:思春期と健康や結婚生活・妊娠・出産・加齢に伴う課題を発見し、その解決をめざして総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。
c:自他のライフステージにおける健康ついて関心を持ち、学習に主体的に取り組もうとしている。</td><td rowspan="7">ワークシート
定期考査</td><td rowspan="7">提出ノート
グループワーク
発表</td><td rowspan="7">提出ノート
観察</td></tr>
<tr><td>2 思春期と健康</td></tr>
<tr><td>3 性意識と性行動の選択</td></tr>
<tr><td>4 妊娠・出産と健康</td></tr>
<tr><td>5 避妊法と人工妊娠中絶</td></tr>
<tr><td>6 結婚生活と健康</td></tr>
<tr><td>7 中高年期と健康</td></tr>
<tr><td rowspan="6">2学期</td><td rowspan="2">8 働くことと健康</td><td rowspan="6">a:労働による傷害や職業病などの労働災害について理解し、働く人の健康の保持増進には心身両面にわたる積極的な対策が必要であることを理解している。
b:労働災害の防止や働く人の健康の保持増進についての課題を発見し、その解決をめざして総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。
c:労働による傷害や労働災害について関心を持ち、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。</td><td rowspan="6">ワークシート
定期考査</td><td rowspan="6">提出ノート
グループワーク
発表</td><td rowspan="6">提出ノート
観察</td></tr>
<tr><td>9 労働災害と健康</td></tr>
<tr><td>10 健康的な職業生活</td></tr>
</table>

※令和４年度以降入学生用

	４ 健康を支える環境づくり	１　大気汚染と健康	a：人間の生活や産業活動は自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼすことや、人々の健康を守るために行われていることについて理解している。 b：自然環境汚染や人々の健康を守る対策について課題を発見し、その解決をめざして総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。 c：自然環境汚染について関心を持ち、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	提出ノート グループワーク 発表	提出ノート 観察
		２　水質汚濁、土壌汚染と健康				
		３　環境と健康にかかわる対策				
		４　ごみの処理と上下水道の整備				
３学期		５　食品の安全性	a：食品の安全性を確保することの重要性や、その安全性を確保するための活動を理解している。 b：食品の安全性やそれに基づく食品衛生活動についての課題を発見し、その解決をめざして総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。 c：食品の安全性や食品衛生活動について関心を持ち、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	提出ノート グループワーク 発表	提出ノート 観察
		６　食品衛生にかかわる活動				

※令和４年度以降入学生用

		7　保健サービスとその活用	a:健康を支える保健・医療制度が存在し、様々な保健活動や社会的対策が行われていることを理解している。 b:健康を支える保健医療制度や社会的活動についての課題を発見し、その解決をめざして総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。 c:健康に関心を持ち、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	提出ノート グループワーク 発表	提出ノート 観察
		8　医療サービスとその活用				
		9　医薬品の制度とその活用				
		10　さまざまな保健活動や社会的対策				
		11　健康に関する環境づくりと社会参加				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度